


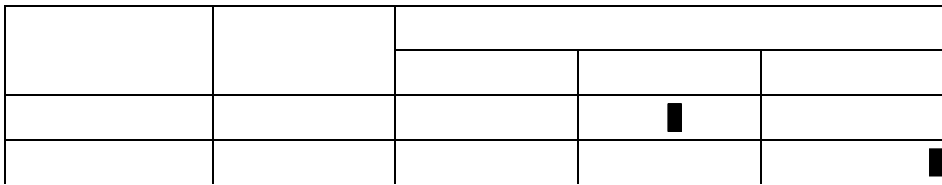
	年度計画全体の達成状況(中期計画の進捗)

--	--	--

	00#i † a4) B	
--	--------------	---

--	--	--

--	--	--



4" w

項 目		最小項目評価 ※()は再掲	大項目 評価
I 大学の教育等の質の向上			B (3.5)
1 教育			
(1) 教育内容等			
No.001	教育の目的に関する目標を達成するための措置	4	
No.002	人間形成教育の目的	3	
No.003	環境学部の目的	4	
No.004	経営学部の目的	4	
No.005	大学院環境経営研究科の目的	3	
No.006	学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に基づいた教育の実施	3	
No.007	各授業の成績評価方法	4	
No.008	保護者への成績の通知	3	
No.009	学習意欲が少ないと判断される学生への履修指導、生活指導	4	
No.010	授業アンケートやFD研修等を通じた授業の改善	3	
No.011	教育課程の編成、学生の状況や授業アンケート踏まえて随時点検	3	
No.012	公立鳥取環境大学版リベラルアーツの推進	4	
No.013	指導教員(チューター)の支援	3	
No.014	成績調査や授業評価アンケート等の実施	3	
No.015	大学間連携事業を通じた他大学との単位互換	3	
No.016	新教職課程の開始に向けた準備の推進	3	
No.017	教職を目指す学生への適切な対応	4	
No.018	アドミッション・ポリシーに基づいた入学者の選抜	4	
No.019	新入試に対するアドミッション・ポリシーの検討	4	
No.020	公立鳥取環境大学版リベラルアーツ実現のための教育課程の配置	4	
No.021	コミュニケーションに重点を置いた実践的な英語力の養成	4	
No.022	TOEIC等の資格取得	2	
No.023	大学院教育の取り組み	3	
No.024	入学前教育の実施	3	
No.025	リメディアル教育(基礎学力を補うために行われる教育)の実施・検討	4	
(2) 教育の実施体制			
No.026	教員の適正な配置等	3	
No.027	教員評価制度の実施	3	
(3) 教育の質の改善及び向上			
No.028	授業改善の取組	3	
No.029	内部質保証を推進していく責任体制及び組織体制の構築検討	4	
No.028	(再掲)授業改善の取組	(3)	
No.030	FD研修会等を通じた授業改善	3	
No.031	地域の企業や関係団体との連携	4	
No.032	実践的な教育の展開	4	
No.033	とっとりインターンシップの推進、正規科目としての長期のインターンシップの実施	4	
No.014	(再掲)成績調査や授業評価アンケート等の実施	(3)	
(4) 教育環境の整備			
No.034	情報ネットワークシステムの機器等を新しく更新、充実	4	
No.035	情報システム運用のアウトソーシング	3	
No.036	授業支援システムを用いた教育活動の支援・効率化	3	
No.037	研究用図書等の充実	4	
No.038	教育研究環境の充実	5	
(5) 就職支援			
No.039	体系的なキャリア教育ときめ細かい指導による支援	4	
No.040	卒業生の就職率の全国国立大学平均値以上	4	
No.041	県内就職率の向上	3	
No.042	就職に役立つ資格取得の支援(検定料補助)	3	
No.043	就職に役立つ資格取得の支援(表彰)	3	
No.044	就職に役立つ資格取得の支援(目標人数)	5	
(6) 学生支援			
No.045	指導教員(チューター)による学生の学習活動等の支援	3	
No.046	独自の強化部育成対策などクラブ活動への支援	3	
No.047	学生表彰制度による学生生活の活性化	3	
No.048	学生や教職員の意見や要望・提案の大学運営への活用	3	
No.049	学生への情報を学内WEBや掲示板等を活用して迅速に伝達	3	
No.050	学生や教職員の意見や要望・提案の環境整備やアメニティ向上への活用	3	
No.051	学生の通学手段の内容の改善	3	
No.052	学生一人ひとりの活動記録(ポートフォリオ)の作成	3	
No.053	安心して大学生活を送ることができるよう外国人留学生の支援	3	
No.054	障がいのある学生等に対するカウンセリング、施設整備	4	

項目		最小項目評価 ※○は再掲	大項目 評価
No.109	事業目的に照らした継続事業の内容点検、必要性の検討	4	B (3.5)
No.110	コスト意識をもった予算管理などの経費削減	3	
No.111	教育研究等を効率的、効果的に行っていくための組織づくり	3	
No.112	幹部会議等での経営上の課題等の共有による効率的な予算執行	4	
No.113	人事評価制度やFD・SD研修を通じた質の高い教職員の養成	3	
II 安定的な経営確保・財務内容の改善			
1 安定的な経営確保			
No.114	幹部会議等での協議、情報共有による適切な大学の経営・運営	3	
No.115	安定的経営を確保するため志願者確保に向けた取組の実施	4	
No.116	自己財源/億円以上、経常的支出に占める人件費割合中四国公立大学平均以内	4	
No.117	自己財源比率中四国公立大学平均以上	4	
No.118	第2期中期計画の目標を円滑に達成するための重点事項を定め実施	3	
2 志願者確保			
No.119	高校訪問の地域等の検証を行い重点化するなどの対策	4	
No.120	教員による出前授業や在学生による母校訪問等でのアピール	3	
No.121	オープンキャンパスの案内や無料送迎バスにより参加者数の増加	5	
No.122	国公立大学平均以上の志願者、入学定員充足率100%達成	4	
No.123	新たに県内入学者促進コーディネーターを配置、県内入学率15%以上	3	
No.124	志願者動向の継続的な把握と大学の魅力づくり	3	
No.018	(再掲)アドミッション・ポリシーに基づいた入学者の選抜	(4)	
No.019	(再掲)新入試に対するアドミッション・ポリシーの検討	(4)	
3 自己財源の増加			

学生支援の推進手段を検討し、引き続き戦略的な広報を展開	4	B (3.1)	V その他業務 1 コンプラ No.137 No.138 No.139 No.140 2 人権 No.141 3 施設設備 No.126 No.142 4 安全管理 No.143 No.144 No.145
メディアでのPR以外の情報	4		
特徴的な教育研究活動に関する情報を引き続き積極的に提供、広報	3		
教育活動や業務運営に関する各種情報の公開度を引き続き高める	3		
コンプライアンス(法令遵守)			
コンプライアンスの推進に関する基本方針の周知と研修等の実施	3		
研究活動の不正防止のための内部監査等の実施	3		
公益通報・相談窓口を通じたコンプライアンスに反する事案への対応	3		
職員倫理規程を整備し、職員の倫理行動基準を徹底	3		
ハラスメント相談窓口の周知・啓発、ハラスメントへの適切な対応 の徹底活用等	3		
(再掲)公立高校連携大学連携方針に基づき策定した3年ごとの実行目標の達成	(3)		
長期的な利用やユニバーサルデザイン化を考慮した保全・改修計画の検討	4		
通訪計画の見直し、教職員及び学生に対して効果的な訓練が出来る体制を検討	3		
個人情報保護の適正な実施	3		
情報セキュリティポリシーの制定に向けた検討と研修の実施	3		
5*0.5+3.2*0.15+3.8*0.5+3.1*0.05+3.1*0.05 = 3.43		全体評価 =	

※一の大項目

内に最小項目記載事項の再掲がある場合は、再掲事項に係る評点は、平均値算定の対象から除外